

## 2 循環型社会に向けた県の取り組み

沖縄県では、豊かな自然環境を守り循環型社会をつくるため、ごみ減量やリサイクルなどに取り組んでいます。



### ごみ減量化推進事業

ごみの減量やリサイクルは皆さんの協力がなければできません。そのため、県では、リサイクルなどの協力を呼びかける様々なキャンペーンを実施しています。「マイ・バッグ・キャンペーン」では、誰もが日常的に行う買い物において、ごみになりやすいレジ袋を減らすため、マイ・バッグの持参や、簡易包装商品・リサイクル製品を優先して購入するなど環境にやさしい買い物を通じて、ライフスタイルの見直しを呼びかけています。皆さんも環境に優しい買い物を始めませんか。

◀ごみ減量・リサイクル講座(「買い物ゲーム」)

### 県産リサイクル製品利用促進制度

沖縄県は島しょ県なので、輸送コストなどの点から最終処分場を広域的に利用することができないため、リサイクルを積極的に進めることがとても大切です。

そのため県では、「県産リサイクル製品利用促進制度」を創設し、リサイクル製品の利用促進に取り組んでいます。この制度は、生活に身近な県産品を対象に、安全性や品質に関する基準を定めて「県産リサイクル製品」として認定し、製品の利用を促進するもので、現在、廃ガラスビンを利用した土壌改良材「スーパソル」が認定されています。



### ちゅら島環境美化クリーン作戦



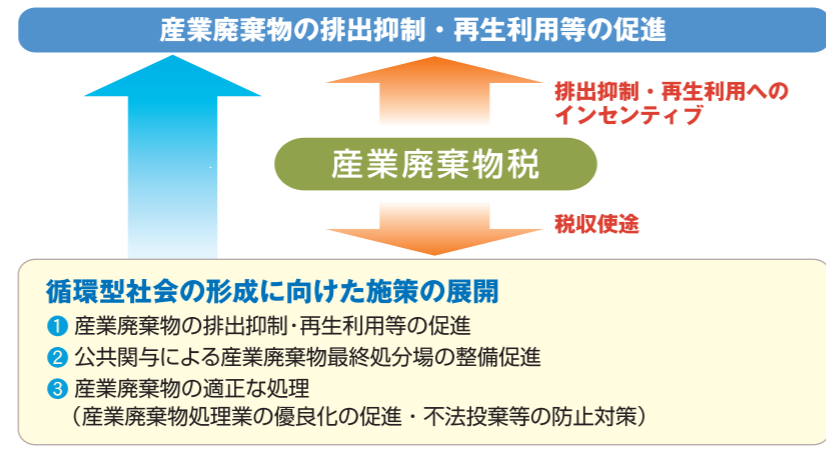
廃棄物を排出する事業者などが、処理のための費用が高いことなどを理由に、適正な処理をせず山林や原野に不法投棄している場所がいくつかあります。

県では、このような不法投棄を防止するため、不法投棄された場所がどれだけあるのかを調査したり、警察や市町村といっしょにパトロールなどを実施しています。

### 産業廃棄物税の導入

県では、今年度から「産業廃棄物税」を導入しました。この税は、最終処分場に搬入された産業廃棄物1トンにつき、1,000円(1kg当たり1円)を課税するものです。

排出事業者が税を負担し、この税収を循環型社会の形成に向けた各種施策に充てることから、産業廃棄物の抑制やリサイクルの促進などが期待できます。



## 1 キーワードは3R

「循環型社会」って、何ですか？  
ごみを減らして、資源やものを大切に使う社会のことです。3Rとは、「循環型社会」を作っていくためのキーワードです。  
「循環型社会」…

3R(スリーアール)って何ですか？  
**Reduce (リデュース)** 物を大切に使う。ごみを減らそう。  
**Reuse (リユース)** 繰り返し使おう。  
**Recycle (リサイクル)** 再び資源として利用しよう。  
3つの言葉の頭文字をとって「**3Rスリーアール**」と呼んでいます。  
私たちの生活は、限りある資源に支えられています。美しい地球の環境と豊かで恵まれた生活を未来の子供達に引き継いでいくためには、環境と経済が両立した**循環型社会**を作っていく必要があります。

このままだと、地球は資源もなくなって、ごみがいっぱいになってしまうの？  
そうならないように、これから**みんな**で**3R**を実行して、**循環型社会**を作っていく必要があります。

二十世紀は、これまでのライフスタイルを見直し、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会から環境と共生する循環型社会へ移行することが求められています。そこで今回は、循環型社会を形成するため3R(スリーアール)や県の取組・計画などについてご紹介します。

# みんなできつくる循環型社会

### 循環型社会をつくるために、私たちができること

リデュース、リユース、リサイクルの順番で、3Rに取り組むのが効果的です。環境に与える影響や費用のことも考えて、最適な方法を選ぶようにしましょう。

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| <p><b>1</b> <b>リデュース REDUCE</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■マイバッグを持参する。</li> <li>■過剰包装を断る。</li> <li>■つめかえ商品などごみの減量化につながる商品を買う。</li> <li>■ものを大切に使う。</li> <li>■生ゴミは水切りを徹底する。 …など</li> </ul> | <p><b>2</b> <b>リユース REUSE</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■不用品交換、フリーマーケット、バザーを活用する。</li> <li>■リターナブル容器を使用する。</li> <li>■中古品を購入する。 …など</li> </ul> | <p><b>3</b> <b>リサイクル RECYCLE</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■リサイクル製品を購入する。</li> <li>■ごみの分別を徹底する。</li> <li>■エコマーク商品などの環境配慮型製品を優先的に購入する。</li> <li>■廃家電や廃自動車のリサイクル料金を負担する。 …など</li> </ul> | <p><b>4</b> <b>さらにもう一歩!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■行楽地では自らのごみは持ち帰る。</li> <li>■環境美化運動に参加・協力する。</li> <li>■環境教育プログラムに参加する。</li> <li>■県市町村などが実施する関連施策に協力する。 …など</li> </ul> |
|---|--|--|---|

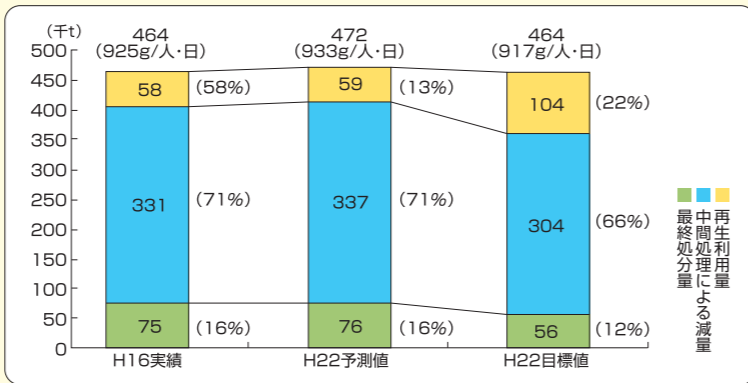
## B 一般廃棄物の減量化の目標

### 一般廃棄物の減量化の目標

- 〈平成22年度〉
- 排出量を現状(平成16年度)と同程度に抑制する。  
(第1期計画の基準年度である平成9年度に対しては、7%の削減)  
(1人1日当たりの排出量では平成16年度に対し、8gの減量化)
  - 再生利用量を排出量の22%とする。
  - 最終処分量を排出量の12%とする。

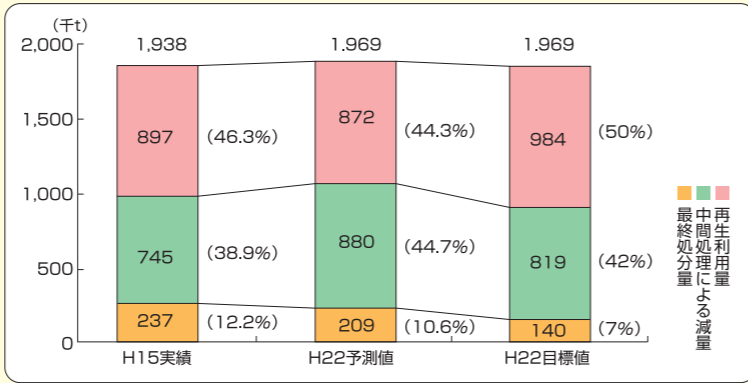


平成22年度までの  
数値目標なんだね。



### 産業廃棄物の減量化の目標

- 〈平成22年度〉
- 排出量の増加を現状(平成15年度)に対し3%以下に抑制する。
  - 再生利用量を排出量の50%とする。
  - 最終処分量を排出量の7%とする。



## C 各主体の役割

- #### 循環を基調としたライフスタイルへの転換
- 環境に配慮された商品・サービスやリサイクル製品の購入などの消費活動
  - ごみ分別収集への協力、資源回収の参加
  - NPOや行政の環境教育などへの参加・協力

- #### 〈3R及び適正処理の取組、環境に配慮した事業活動〉
- 原材料の選択や生産工程の見直し
  - 県民、行政と連携したリサイクルの推進
  - エコアクション21など環境管理システムへの取組
  - グリーン購入の実施
  - 周辺環境・地域住民に配慮した適正な処理



- #### 〈一般廃棄物に関する3R及び適正処理〉
- ごみ有料化の導入・検討、住民・NPO・事業者等の取組を促進
  - ごみの分別収集や廃棄物処理施設の整備
  - 環境配慮型製品の需要拡大を図るため、グリーン購入などの率先行動

- #### 〈全県的・広域的な3R及び適正処理を促進〉
- 県民・NPO・事業者等の取組を促進するとともに、再生品の利用を促進
  - 個別リサイクル法や廃棄物処理法などの関係法令の円滑な運用
  - グリーン購入、ISOの運用などの率先行動

## 3 廃棄物処理計画について

### 第2期

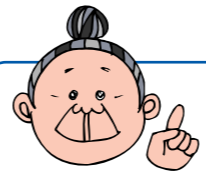
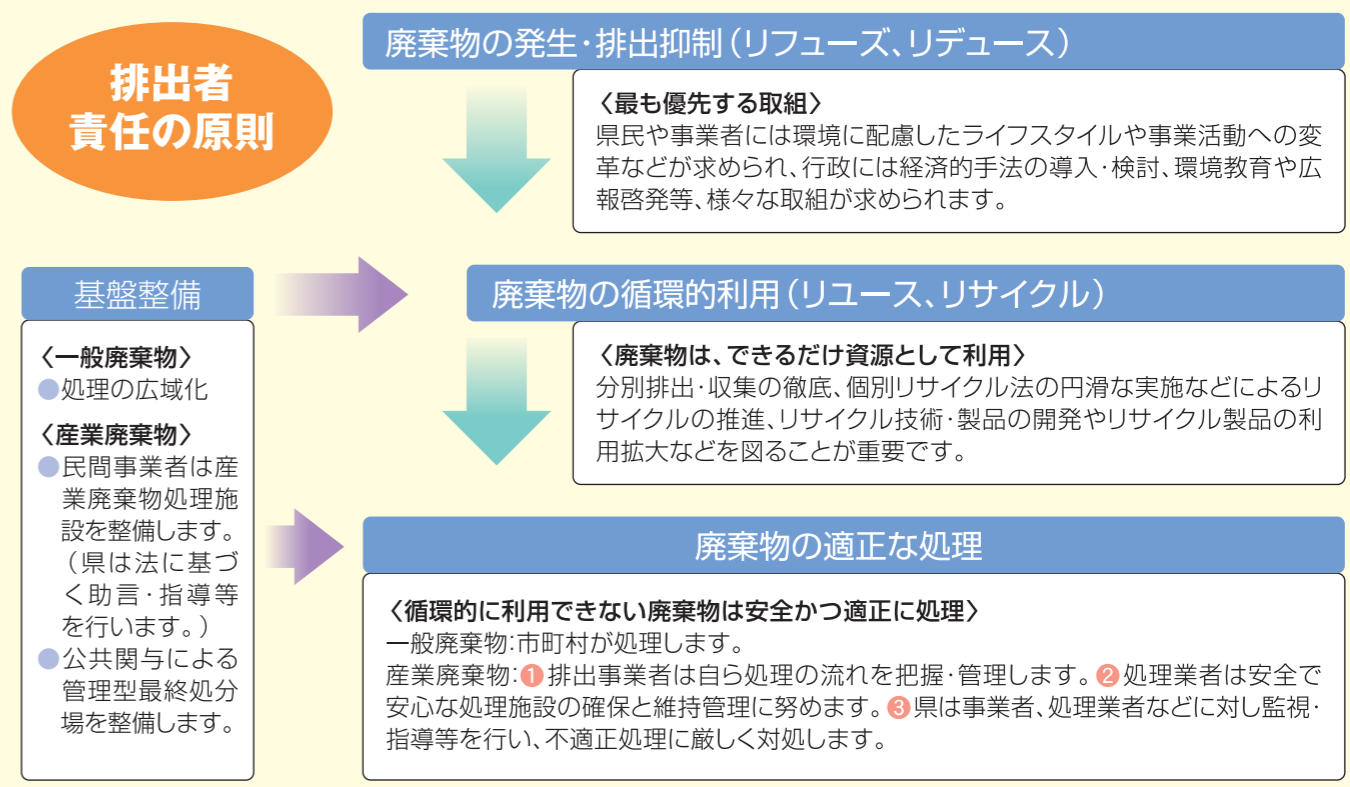
県では、昨年12月、廃棄物を取り巻く現状や第1期計画の達成状況などを踏まえ、沖縄県廃棄物処理計画(第2期)を策定しました。

この計画は、循環型社会の形成に向けた基本的な考え方や目標、各主体の役割などを定めており、

- 1 排出者責任の原則と3Rの推進
- 2 平成22年度を目標とするごみ減量化
- 3 県民、事業者、市町村及び、県の役割分担などがポイントです。



## A 循環型社会の形成に向けた基本的な考え方



### ちょっとゆんたく

「くいまーるプロジェクト」って聞いたことある?

くいまーるプロジェクトとは、食品残渣(ざんさ)の飼料化・堆肥化による、持続的かつ循環型の養豚システムの確立を目指したプロジェクトのことです。スーパーや飲食店から排出される事業系生ごみを回収し、堆肥や飼料にして、有機農家や畜産農家で利用しようとするものであり、県内のNPO法人を中心に実施されています。